

I 作品管理業務

(1) 展示	1
(2) 貸出	1

II 展覧会

(1) 企画展 平野杏子展 生きるために描きつづけて	2
(2) 特集展 1950～60年代の日本画－造形への挑戦	3
(3) 企画展 ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展〈童堂賛歌〉	4
(4) 特集展 つながるコレクション＋新収蔵品展	7
(5) 企画展 大正・昭和のモダニスト 落谷虹児展	9
(6) 特集展 おしゃべり美術館 ひらびあ一つま～れ10年記念展	11
(7) 特集展 ロビー展 中勘助の小宇宙－「銀の匙」と「しづかな流」	13
(8) 特集展 ロビー展 古井彩夏展 熱を与えた鉄とステンレス	15

III 教育普及

(1) 令和6年度実施プログラム	17
(2) スクールプログラム	18
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	18
(4) アートカードの貸出	20

IV その他の事業

(1) 団体向け研修・体験プログラム	20
(2) 博物館実習生及び職場体験	20
(3) 所蔵作品データベースの公開	20
(4) 紀要の発行	21

V 施設利用者等の統計

(1) 展覧会	22
(2) 貸出施設	23

I 作品管理業務

(1) 展示

当館展覧会において下表のとおり、572 点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵 ・寄託	うち 借用
1	企画展	平野杏子展 生きるために描きつづけて	67 点	18 点	49 点
2	特集展	1950～60 年代の日本画－造形への挑戦	44 点	44 点	0 点
3	企画展	ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展 〈童堂賛歌〉	385 点	0 点	385 点
4	特集展	つながるコレクション＋新収蔵品展	76 点	66 点	10 点
計			572 点	128 点	444 点

(2) 貸出

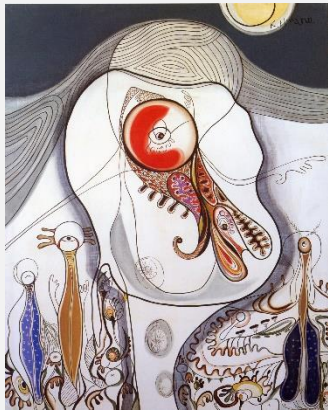
開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり 5 点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	横須賀美術館	驚異の細密表現展 江戸・明治の工芸から現代アートまで 4 月 20 日～6 月 23 日	4 点	椿貞雄「菊子像」木下晋「休息」 木下晋「鮭」木下晋「祈りの塔」
2	浜松市秋野不矩美術館	内田あぐり展 4 月 27 日～6 月 23 日	1 点	内田あぐり「わたしの前にいる、目を閉じている」
計			5 点	

Ⅱ 展覧会

(1) 企画展 平野杏子展 生きるために描きつづけて

種 別	企画展
会 期	4月6日(土)～6月9日(日)
主 催	平塚市美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00 (入場は 16:30 まで)
休 館 日	月曜日 (4月29日、5月6日は開館)、4月30日(火)、5月7日(火)
観 覧 料	一般 800 円、高大生 500 円
開催日数	56 日
観覧者数	4,911 名
担 当	勝山滋 (当館館長代理)



平野杏子「輪廻の章Ⅲ」1961年、「南山遙遠」1980年

●内容

平野杏子（ひらのきょうこ、1930年伊勢原生まれ）は、1954年から現在に至る70年間を平塚市で制作活動を行っているゆかり作家です。

現在、女性の活躍推進が社会の課題となっていますが、画家が美術の道を志したのはいまだ女性作家が稀であった時期であり、結婚や育児と制作の両立という課題に向き合いながら画業を切り拓いていきました。また現在90代となった現在も生き生きと新たな画境を求めて制作する姿勢からは、現代の長寿社会のなかでいかに生きるかわれわれに範を示しているように感じます。

その画業は具象から抽象、平面から立体まで多彩ですが、われわれが太古から慈しみ根を張って折り生活してきた原初的な風土や歴史がテーマとなっています。あるいは共感する文学が裏打ちとなり、また平塚の出縄でのアトリエで感じた自然や、病いを得て夢に現れたイメージ、仏教的な教えや人々の信仰が表現されています。

さらに韓国・慶州で出会った磨崖仏の拓本は画家の大きな功績であり、また女性作家による美術団体「潮展」での活躍等、洋画壇で大きな役割を担ったほか、地元平塚に目を向ければ総合公園のモニュメント「トキオコシ」の設置に加え、アトリエでは近隣の画家や評論家が集い、その交流は平塚の文化振興の原動力となりました。

本展は平塚ゆかりの作家、平野杏子の集大成となる回顧展であり、その代表作や初公開の作品を含めた67点によりその画業を振り返りました。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①4月20日(土)、②5月11日(土) 各日 14:00～15:00

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者：①30名 ②26名

(2) 特集展 1950～60 年代の日本画—造形への挑戦

種 別	特集展
会 期	4 月 6 日 (土)～6 月 2 日 (日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00 (入場は 16:30 まで)
休 館 日	月曜日 (4 月 29 日、5 月 6 日は開館)、4 月 30 日 (火)、5 月 7 日 (火)
観 覧 料	一般 200 円、高大生 100 円
開催日数	50 日
観覧者数	4,415 名
担 当	家田奈穂 (当館学芸員)



北澤映月《花》1954 年、当館寄託



加山又造《紅鶴》1964 年、当館寄託【日本芸術文化振興会 (国立劇場) 蔵】

●内容

戦後まもなく、それまでの伝統的な日本画のあり方に危機感をつのらせた画家たちが、新たな表現を模索するようになりました。1948 年には「世界性に立脚する日本絵画の創造を期す」という宣言のもと、「創造美術」(現・創画会)が結成されます。日本画の革新運動は、新興の美術団体のみならず既存の団体を含む日本画壇全体におよび、戦後に台頭してきた若い画家たちを中心に、1950 年代から 60 年代にかけてさまざまな試行錯誤が重ねられました。日本画の伝統に拘泥せず、画壇に新風を吹き込もうとした画家たちが参照したのは、欧米の絵画作品でした。その堅牢な造形や油絵具のもつ力強いマチエール、あるいは当時注目を集めていた抽象表現が取り入れられるなど、「革新」の呼び声のもと、一時代を象徴する作風が生み出されました。結果として日本画は、同時代の洋画の造形に接近することになり、画材こそ違えども、日本画と洋画の造形的な境目があいまいになりました。

本展は、当館の所蔵品の中から創画会、日展、院展で活躍した日本画家を中心とした 1950～60 年代の作品のほか、同時期に制作された洋画を加えた 44 点を展示することで、この時期の日本画の造形的な特徴の一端を明らかにしようとするものです。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①4 月 13 日 (土) ②5 月 12 日 (日) 各日 14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者①24 名 ②28 名

(3) 企画展 ザ・キャビンカンパニー 大絵本美術展〈童堂賛歌〉

種 別	企画展
会 期	7月6日(土)～9月1日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00 (入場は 16:30 まで)
特別協賛	株式会社 海地獄、株式会社 タバタホールディングス、株式会社 明治、生活協同組合 コープおおいた
協 賛	神奈川中央交通株式会社
助 成	一般財団法人 地域創造
休 館 日	月曜日 (7月15日、8月12日は開館)、7月16日 (火)、8月13日 (火)
観 覧 料	一般 800 円、高大生 500 円
開催日数	50 日
観覧者数	5,320 人 (7月31日現在)
担 当	安部沙耶香 (当館学芸員)



童堂賛歌 メインビジュアル 2023 年



ザ・キャビンカンパニー《脳想電撃招馬》
2018 年、作家蔵 撮影：橋本大



作家のポートレート
撮影：橋本大

●内容

2009 年のユニット結成以来、40 冊以上の絵本を出版しているザ・キャビンカンパニー。

『だいおういかのいかたろう』（鈴木出版、2014 年）で日本絵本賞読者賞、『ゆうやけにとけていく』（小学館、2023 年）で第 29 回日本絵本賞大賞と第 71 回産経児童出版文化賞産経新聞社賞を受賞するなど、数々の高い評価を得てきました。その活動は絵本の分野にとどまらず、ダンサー・振付家として国内外で活躍を続ける Co. 山田うんのダンス作品『オバケッタ』の舞台美術(2021 年)や、歌手あいみょんのオファーにより「傷と悪魔と恋をした！」(2021 年)のツアーパンフレットの制作に携わっています。また、NHK (E テレ) の番組「おかあさんといっしょ」での「しりたガエルのけけちゃま」のキャラクターデザインを手がけるなど、目覚ましい活躍をみせています。

展覧会のタイトル〈童堂賛歌〉とは、本展のためにつくられたことばです。「飽きることなく何十回でも何時間でもすべり台で遊び続ける、子どもの時間のとらえ方や感覚に象徴される「童」と、本屋や薬局、駄菓子屋などの店名にも使われるお堂の「堂」＝「万物を受け入れる」という意味が組み合わされています。本展は 7 つのテーマの部屋で構成され、まるで空間が大きな 1 冊の本になったようなしなやかな満載です。

関東の公立美術館で初となる本展では、ユニット結成 15 周年を記念して、活動初期から現在までの絵本原画に加え、立体造形、映像作品などを一堂にご紹介します。ザ・キャビンカンパニーの多様な魅力に満ちた作品を身体全体でお楽しみください。

●関連事業

○ザ・キャビンカンパニーによる絵本の読み語り

日時：7月13日(土) 13:00～13:45

場所：ミュージアムホール

参加者：375 人

○ザ・キャビンカンパニーによるアーティストトーク

日時：7 月 14 日（日）13:00～13:45

場所：ミュージアムホール

参加者：258 人

○ザ・キャビンカンパニーのサイン会

日時：①7 月 13 日（土）、②14 日（日）、③15 日（月・祝）、④28 日（日） 各日 14:00～15:00

場所：テーマホール ※申込不要、図録もしくは絵本を当館でお買い求めの方に限る

参加者：①188 人 ②171 人 ③71 人 ④139 人

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①7 月 27 日（土）、②8 月 10 日（土） 各日 14:00～14:40

場所：展示室 I ※申込不要、要観覧券

参加者：①23 人 ②21 人

○図書館ボランティアによるおはなし会

日時：①7 月 18 日（木）、②8 月 22 日（木） 各日 11:00～11:30

場所：展示室 I ※申込不要、要観覧券

参加者：①23 人

○ぬりえコーナー

日時：展覧会会期中の 9:30～17:00

定員・参加費：なし

場所：テーマホール

○絵本コーナー

日時：展覧会会期中の 9:30～17:00

定員・参加費：なし

場所：テーマホール

○「ザ・キャビンカンパニー 大絵本美術展＜童堂讃歌＞」まちなか展示@ひらしん平塚文化芸術ホール

会期：8 月 2 日（金）～22 日（木）

休館日：8 月 19 日（月）

会場：ひらしん平塚文化芸術ホール エントランス ギャラリー

協力：ひらしん平塚文化芸術ホール（指定管理者：ひらつか文化パートナーズ）

観覧料：無料

○「ザ・キャビンカンパニー 大絵本美術展＜童堂讃歌＞」まちなか展示@平塚市中央図書館

会期：8 月 2 日（金）～22 日（木）

休館日：月曜日（8月12日は開館）、8月13日（火）

会場：平塚市中央図書館 1階エントランスロビー

協力：平塚市中央図書館

観覧料：無料

○「ザ・キャビンカンパニー 大絵本美術展＜童堂讃歌＞」まちなか展示@サクラ書店ラスカ平塚店

会期：8月2日（金）～22日（木）

休館日：なし

会場：サクラ書店ラスカ平塚店 ショップ内

協力：平塚書店協同組合

観覧料：無料

○保育園児向け展覧会鑑賞ツアー

①柳町保育園

日時：7月23日（火）10:00～10:30（出張授業）、26日（金）10:30～11:30（来館プログラム）

参加者：園児19人、引率者3人

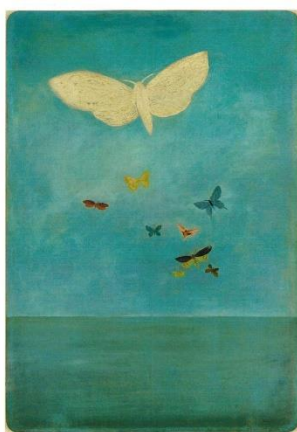
②横内保育園

日時：7月25日（木）10:00～10:30（出張授業）、30日（火）10:3～11:30（来館プログラム）

参加者：園児11人、引率者3人

(4) 特集展 つながるコレクション+新収蔵品展

種 別	特集展
会 期	6月8日(土)～9月8日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)、8月13日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	80日
観覧者数	4,330名(7月31日現在)
担 当	勝山滋(当館館長代理)



三岸好太郎《海洋を渡る蝶》1934年、斎藤史門《陸にあがった錨》2014年、村上早《嫉妬—どく—》2020年

●内容

数年来の新型コロナウイルス感染症の流行は、人と人との関係を疎遠にし、人々の生活様式まで変質させてきました。一方、元来われわれの社会や地域は、様々なつながりのなかで成り立ってきました。「人間」という文字が人と人との間と書くように、交流しつながりをもつことは重要であり、改めて今、様々な関係性のなかで現代社会を見つめ直すことが求められていると言えるのではないのでしょうか。

本展と同時開催となる作家、ザ・キャビンカンパニーは「夫婦」というつながりがありますが、収蔵作品を見渡すと「父子」や「師弟」、「仲間」といった作家の関係、さらに「個人・社会」、「人間・自然」、作品どうしの共通点など様々な「つながり」を見出すことができます。こうした切り口に新たな光を当てることで、収蔵作品の新たな魅力を発見し、さらに広くは地域や社会の来し方行く末を考えるよすがとしたいと思います。

こうした趣旨のもと、33作家、76点の作品を全3章にわけ構成します。その内訳は1. 自然や人とのつながり、2. 地域とのつながり、3. 新収蔵作品展です。

1章は、人間と自然のつながりをテーマとし、外出を控えてきたわれわれが戸外に出、解放感と明るい陽光のもと自然に目を向け、新たにその空気感や季節を発見していくような広がりのある作品を紹介し、またSDGsの観点を含め、環境問題をテーマとした作品を展示します。また、様々な人と人とのつながりをテーマとして、家族を描いた作品、師弟、ともに研鑽する仲間、父子や夫婦といった関係にスポットをあてます。近親者を描き愛情が感じられる作品にはじまり、大磯に住んだ実業家の赤星家の関係者を描いた黒田清輝、安田靉彦の作品、萬鉄五郎のもとで研鑽し湘南の美術を彩った森田勝、原精一、鳥海青児、山下大五郎を取り上げます。

2章は、地域とのつながりがある作品として、旧市民センターの緞帳として親しまれ、長く本庁舎に掲出されてきた本荘起「平塚風景」の原画、中央公民館大ホールの緞帳原画である工藤甲人「アンドロメダ」、平塚駅南口に設置された澤田政廣「人魚の像」の原画からはじめ、高良真木「ふしぎなおはなし」の絵本原画、岸田劉生による雑誌「棋道」原画を展示します。またこのたび姉妹都市を締結したリトアニアとのつながりを紹介するコーナー展示を行い、リトアニア生まれのジョナス・メカスの展示・上映を行います。

3 章では、2023 年度に新たに収蔵した作品を展示します。こうした収蔵作品も、所蔵家と美術館の信頼関係やつながりから収められたもので、市内の企業、湘南アルテックからの寄付金によって購入が叶った村上早作品などもお披露目します。

さまざまにつながるコレクションをどうぞお楽しみください。

●関連事業

○ジョナス・メカス上映会@平塚市美術館

日時：8 月 25 日（日）14:00～

場所：ミュージアムホール

上映作品：「リトアニアへの旅の追憶」1972 年、87 分、16mm フィルム

協力：ときの忘れもの／メカス日本日記の会／コガタ社

※字幕なし（スクリプトを配布します）

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：7 月 20 日（土）14:00～15:00

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者：14 人

○担当学芸員によるギャラリートークと中央公民館緞帳見学会

日時：8 月 17 日（土）14:00～15:00

場所・集合：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者：9 人

(5) 企画展 大正・昭和のモダニスト 落谷虹児展

種 別	企画展
会 期	10月5日(土)～11月24日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	新発田市・新発田市教育委員会・落谷虹児記念館、弥生美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00 (入場は 16:30 まで)
休 館 日	月曜日(10月14日、11月4日は開館)、10月15日(火)、11月5日(火)
観 覧 料	一般 800 円、高大生 500 円
開催日数	44 日
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



《『睡蓮の夢』カバー原画》1924年 落谷虹児記念館、《旅の絵だより 出帆Ⅱ》《『小令女』1-4口絵原画》落谷虹児記念館

●内容

落谷虹児(1898-1979)は、新潟県で生まれ、1913年に日本画家を目指して上京しますが、竹久夢二の紹介で少女雑誌の挿絵を描くようになると、またたく間に時代の寵児となりました。1925年には本格的に絵を学ぶためにパリに留学し、サロン入選や個展の開催により、画家として活動していくことに自信を深めます。しかし、1929年に生活のために志半ばで帰国。その後は再び少女雑誌の仕事を手がけ、1930年代にかけてモダンな女性像により人気の絶頂を迎えました。流行のファッションに身を包み、強い眼差しを持つ女性像は、近代的なライフスタイルにあこがれる多くの女性たちにとって象徴的なアイコンとして機能したといえるでしょう。戦後は、童話や絵本の挿絵のほか、アニメーションの仕事にも取り組み、少女向けの仕事から離れて新たな境地を開拓。晩年は、個展を中心に可憐な少女像を発表して変わらぬ人気を博し、1979年に80歳でその生涯を閉じました。1987年には、幼少期を過ごした新潟県新発田市に記念館がオープンし、現在にいたるまで多くの来館者に愛されています。

本展では、落谷虹児記念館の作品を中心に少女雑誌の表紙や挿絵の原画、パリ時代の作品、童話や絵本の挿絵の原画、アニメーションの原画など約460点が一堂に会し、およそ60年におよぶ虹児の画業を回顧します。大正から昭和戦前にかけて、文化や芸術が大衆のものとして浸透していく過程で、出版界の花形として虹児が果たした役割がいかに大きいものであったかを感じ取っていただくとともに、戦後の児童文化に残した足跡をご堪能いただければ幸いです。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：10月19日(土)、11月2日(土) 各日 14:00～14:40

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

○落谷虹児が構成・原画を担当した短編アニメ「夢見童子」上映

東映動画（現・東映アニメーション）初となるカラーアニメーション。東映動画に招聘された虹児は、詩人であり抒情画家である自身のイメージを前面に打ち出して、「夢見童子」の原画を描き、童謡風の歌を作詞しました。

日時：展覧会会期中の 9:30～16:30 頃

上映時間：1 回 15 分 28 秒（繰り返し上映）

場所：ミュージアムホール ※申込不要、観覧無料。都合により上映場所が変更される場合があります。詳細は当館までお問い合わせください。

○関連ワークショップ「単色凸版・版画講座」

講師：城戸宏氏（リン版画工房主宰）

日時：11 月 17 日（日）13:30～15:30

場所：アトリエB ※事前申込制、詳細は当館ウェブに掲載。

（６）特集展 「おしゃべり美術館 ひらびあ一つま〜れ 10 年記念展」

種 別	特集展
会 期	9 月 21 日（土）～2025 年 2 月 16 日（日）
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00（入場は 16:30 まで）
休 館 日	月曜日（9 月 23 日、10 月 14 日、11 月 4 日、2025 年 1 月 13 日は開館、翌日休館）、年末年始（12 月 29 日～2025 年 1 月 3 日）
観 覧 料	一般 200 円、高大生 100 円
開催日数	123 日
担 当	江口恒明（当館学芸員）、浅野泰恵子（当館会計年度任用職員）



工藤甲人《樹木のうた》1956 年 当館蔵



伊藤彬《青幻記》1976 年 当館蔵

●内容

平塚市美術館では 2015 年に「対話による美術鑑賞事業」をスタートさせ、市民参加者「ひらびあ一つま〜れ」のメンバーとともに、平塚市内の小学生と学校や美術館で、おもに所蔵作品を用いて美術鑑賞する活動を続けてきました。10 年目をむかえる今年、対話型鑑賞とこれまでの活動を紹介する展覧会を開催いたします。

いわゆる対話型の作品鑑賞は、作品のことをよく知る誰かから説明を受けるものではありません。鑑賞する人がじっくりと作品をみて、少人数のグループと一緒に鑑賞する他の人との対話を通じてそれぞれの人が解釈を構成し、目の前の作品の核心とその魅力に迫っていきます。鑑賞する人自身が自分の中に意味や知識を構築していくプロセスととらえる構成主義の学習観にもとづいた鑑賞方法です。

美術に関する知識を必要としない、10 歳前後の子ども対象のプログラムとして考案されたものですが、大人が見慣れた絵をみても、新しい発見をとまったり、解釈を更新することが起こり得ます。イメージそのもの、あるいは表現のもつ力を再認識するとともに、鑑賞といういとなみが一個人の中で完結するものではなく、一続きのつながりとして社会に開かれていることにも気づかされます。

そのような特徴をもつ対話型美術鑑賞を続けてきた「ひらびあ一つま〜れ」の活動を紹介するため、本展では事業の中で用いてきた所蔵作品を中心に約 30 点を選び、対話のきっかけとなるよう 5 つのテーマに分けて展示します。また、平塚市内の小学生と地域の方々に支えられた活動であることから、あわせてこの中に湘南にゆかりのある他館所蔵の作品も展示します。

本展の特色に鑑み、展示室で作品に関して自由にお話しできる「おしゃべり OK」の展覧会とします。観覧する人がそれぞれに鑑賞をお楽しみいただければ幸いです。

●関連事業

○シンポジウム「子どもの目の美術鑑賞―地域の美術館と学校でうまれる学び」

日時：11月30日（土）13:00～15:30

場所：ミュージアムホール ※申込不要・先着順

内容：1）基調講演「共同性と縁起が生み出す創造性」

講師：奥村高明氏（日本体育大学特別研究員）

美術教育を長年研究してきた奥村氏に学校教育における美術鑑賞の重要性についてご講演いただきます。

2）対談「学校教育と美術館の連携」

学校関係者、アートNPO、美術館スタッフなどと、地域の美術館における鑑賞の意義、これまでの活動の成果と今後の展望について対談します。

○鑑賞会「おしゃべり美術館にあ一つま〜れ」

日時：10月5日（土）、11月30日（土）、12月21日（土）、2025年1月18日（土）

11:00～/14:00～（各回40分程度）

場所：展示室Ⅱ ※要申込・要観覧券

内容：ひらびあ一つま〜れのメンバーによる対話型の鑑賞会。

※11月30日（土）は11:00の回のみ実施します。

(7) 特集展 ロビー展 中勘助平塚居住 100 年記念
中勘助の小宇宙－「銀の匙」と「しづかな流」

種 別	特集展
会 期	10 月 5 日 (土)～11 月 10 日 (日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日 (10 月 14 日、11 月 4 日は開館)、10 月 15 日 (火)、10 月 5 日 (火)
観 覧 料	無料
開催日数	32 日
担 当	鈴木美有 (当館学芸員)



平塚時代の中勘助



左から「しづかな流」の頃、中勘助 40 代肖像写真 (株式会社岩波書店蔵)、「銀の匙」岩波書店、1926 年刊
相州平塚町海岸第一道路より海をのぞむ (絵葉書、平塚市博物館蔵)

●内容

2024 年は作家、中勘助(1885-1965)が平塚に居住して 100 年となります。

この節目となる年にあたり、〈中勘助平塚居住 100 年記念 中勘助の小宇宙(ミクロコスモス)－「銀の匙」と「しづかな流」〉と題し、ロビー展を開催します。

中勘助は東京生まれ。第一高等学校を卒業し、東京帝国大学在学中に夏目漱石の教えを受けました。病弱だった追わない頃の思い出や身近な人々との交流を描いた「銀の匙」は、夏目漱石の強い推薦により東京朝日新聞に連載され、中勘助の作家デビュー作であり代表作となりました。

その後も、執筆を続けながら旅行や知人宅への仮寓など約 10 年の単身生活を経て、1924 年 39 歳の時に家族の避暑避寒のため平塚に転居し、海岸近くに家建て、1932 年 9 月半ばまでの約 8 年間で過ごしました。当時の平塚での生活を綴った日記体随筆「しづかな流」では、日々の暮らしと平塚の豊かな自然が捉えられています。そして、平塚時代の 2 年目にあたる 1926 年、およそ 6 年以上の長期連載となった雑誌『思想』での「しづかな流」の連載が始まり、まさに同年に、代表作『銀の匙』の初版が岩波書店より単行本として刊行されました。この二つの作品の関連資料からは、中勘助のこだわりと、平塚での作家活動の一端も垣間見ることができます。

本展では、中勘助が平塚から差し出した岩波茂雄ならびに岩波書店出版部あての書簡 3 点をはじめ、「銀の匙」「しづかな流」の関連資料を作家の言葉とともに紹介します。中勘助という作家の繊細で豊かな感受性が捉えた、日常のひとこまひとこまによって紡がれる「小さな宇宙」ともいえるべき世界をご覧くださいと思います。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：10月12日（土）、11月3日（土） 各日 14:00～14:40

場所：エントランスホール、テーマホール ※申込不要、参加無料

○中勘助 平塚居住 100 年記念 記念講演会&コンサート「中勘助の平塚時代」

日時：11月9日（土） 13:30～15:30（開場 13:00）

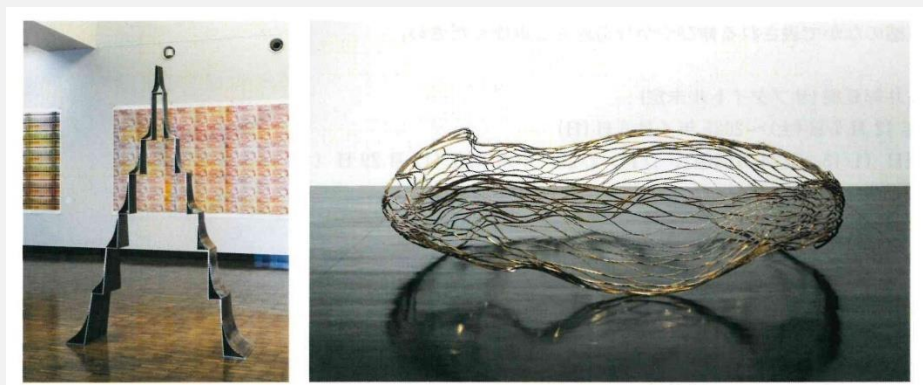
場所：ミュージアムホール ※申込不要、定員 150 名

主催：中勘助を知る会

共催：平塚市美術館

(8) 特集展 ロビー展 古井彩夏展 熱を与えた鉄とステンレス

種 別	特集展
会 期	12月7日(土)～2025年4月6日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	公益財団法人河野文化財団・公益財団法人朝日新聞文化財団
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日(1月13日、2月24日は開館、翌日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)
観 覧 料	無料
開催日数	99日
担 当	勝山滋(当館館長代理)



《Bell》2016年、《ベアリング》2022年

●内容

2024年度平塚市美術館ロビー展として「古井彩夏展 熱を与えた鉄とステンレス」を開催します。

彫刻家・古井彩夏(ふるいあやか)は1988年東京生まれ。2009年、女子美術大学在学中に鉄を素材とした作品の制作をはじめ、2011年、同校の立体アート学科卒業に際し、卒業制作が女子美術大学美術館賞を受賞。同年神奈川県展において大賞を受賞。2013年同大学院を修了ののち、各地での個展のほか内外のグループ展に参加。このほか東京都内各所に野外彫刻を制作、設置するなど活躍し、現在女子美術大学非常勤講師。

古井作品は鉄を素材とするほか、近作ではステンレスを素材として細いステンレス板を切り取り、その切断面を高熱で焼き、生じたゆがみが生み出す軽やかな曲線に注目した伸びやかな造形を示しています。

ロビー展は、陽光のそそぐ広いテーマホールを舞台として観覧無料で開催される冬から春にかけての展覧会であり、若手作家の登竜門として今回で18回目を数えます。

公立美術館初の個展となる本展では、作家の新作を含めた約28点によってその世界観を紹介するとともに、湘南の気や空気感のなかで表される伸びやかな造形をご堪能ください。

●関連事業

○アーティストトーク

講師：古井彩夏氏(彫刻家)

日時：12月7日(土)、2025年2月23日(日) 各日14:00～14:30

場所：テーマホール ※申込不要

●ワークショップ

講師：古井彩夏（彫刻家）

場所：アトリエB ※事前申込制、詳細は当館ウェブに記載。

○「ながーい紙テープを作って工作しよう」

日時：12月15日（日）

対象：5歳～一般

○「ステンレスを曲げて磨いてバングルを作ろう」

日時：2025年3月22日（土）

対象：6年生～一般

Ⅲ 教育普及

(1) 令和6年度実施プログラム

19 プログラムを実施 参加人数：531 人 18 プログラムを実施予定

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	体験アートセラピー 親子でパステルワーク～笑顔のカードを作ろう～	福山恵美子(アートセラピスト)	4月29日(月・祝)	1組 500円	親子(小・中学生)	9組 18人
2	赤ちゃんアート5月	富田めぐみ※	5月24日(金)	1組 500円	親子(1～2歳)	14組 28人
3	バックヤードツアー2024 美術館調査ツアー	当館学芸員	5月25日(木)	無料	小学校 4～6年生	10人
4	キッズアート6月	富田めぐみ※	6月12日(水)	1組 500円	親子(2～4歳)	14組 32人
5	染色ワークショップ	山田麻緒(美術作家)	6月22日(土) 6月29日(土)	1,500円	中学生～一般	17人
6	赤ちゃんアート7月	富田めぐみ※	7月2日(火)	1組 500円	親子(1歳～2歳)	13組 26人
7	スキマってどんなかたち？①	對木裕里(彫刻家)	8月3日(土)	300円	子ども～一般	11人
8	色のカケラでオリジナルチャームをつくろう！①	渡辺望(美術作家)	8月3日(土)	300円	子ども～一般	24人
9	ビー玉絞り染め①	中高生ボランティア	8月3日(土)	無料	子ども～一般	40人
10	フライヤー・ミニノート①	中高生ボランティア	8月3日(土)	無料	子ども～一般	37人
11	学校でも、おうちでも、おしゃべり美術館であそぼ！①	ひらびあ一つま～れ(鑑賞ボランティア)	8月3日(土)	無料	子ども～一般	41人
12	美術作家が描いた絵本のおはなし会	平塚市中央図書館おはなし会ボランティア	8月3日(土)	無料	子ども～一般	12人
13	スキマってどんなかたち？②	對木裕里(彫刻家)	8月4日(日)	300円	子ども～一般	25人
14	色のカケラでオリジナルチャームをつくろう！②	渡辺望(美術作家)	8月4日(日)	300円	子ども～一般	22人
15	ビー玉絞り染め②	中高生ボランティア	8月4日(日)	無料	子ども～一般	43人
16	フライヤー・ミニノート②	中高生ボランティア	8月4日(日)	無料	子ども～一般	40人
17	海のいきものみつけたよ！①	hoppe(造形教室主宰)	8月4日(日)	500円	親子(4～6歳)	9組 18人
18	海のいきものみつけたよ！②	hoppe(造形教室主宰)	8月4日(日)	500円	親子(4～6歳)	12組 27人
19	学校でも、おうちでも、おしゃべり美術館であそぼ！②	ひらびあ一つま～れ(鑑賞ボランティア)	8月4日(日)	無料	子ども～一般	60人
20	キッズアート8月	富田めぐみ※	8月22日(木)	1組 500円	親子(2～4歳)	15組 30人
21	赤ちゃんアート9月	富田めぐみ※	9月6日(金)	1組 500円	親子(1～2歳)	15組 30人
22	オレンジアート	福山恵美子(アートセラピスト)	9月25日(木)	200円	認知症当事者・介護者	18人
23	東海大学協働事業 デッサン教室	東海大学教養学部教員	10月13日(日)	未定	中学生～一般	—
24	キッズアート10月	富田めぐみ※	10月25日(金)	1組 500円	親子(2～4歳)	15組 30人

25	未就学児向けワークショップ	hoppe(造形教室主宰)	11月3日(日)	未定	未就学児	—
26	露谷虹児展関連版画ワークショップ	城戸宏(版画工房主宰)	11月17日(日)	未定	小学4年生～一般	16人
27	赤ちゃんアート11月	富田めぐみ※	11月27日(金)	1組500円	親子(1～2歳)	15組30人
28	キッズアート12月	富田めぐみ※	12月6日(金)	1組500円	親子(2～4歳)	15組30人
29	古井彩夏展ワークショップ①午前	古井彩夏(彫刻家)	12月15日(日)	未定	未定	—
30	古井彩夏展ワークショップ①午後	古井彩夏(彫刻家)	12月15日(日)	未定	未定	—
31	版画ワークショップ	城戸宏(版画工房主宰)	1月12日(日) 1月19日(日)	未定	未定	—
32	赤ちゃんアート1月	富田めぐみ※	1月17日(金)	1組500円	親子(1～2歳)	15組30人
33	キッズアート2月	富田めぐみ※	2月18日(火)	1組500円	親子(2～4歳)	15組30人
34	未就学児向けワークショップ	hoppe(造形教室主宰)	3月2日(日)	未定	未就学児	—
35	赤ちゃんアート3月	富田めぐみ※	3月14日(金)	1組500円	親子(1～2歳)	15組30人
36	古井彩夏展ワークショップ②	古井彩夏(彫刻家)	3月22日(土)	未定	未定	—
37	バックヤードツアー	当館学芸員	3月下旬	未定	未定	—

※NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

※7番から19番までのワークショップは8月3日(土)、4日(日)に実施した夏のワークショップイベント「美術館であそぼ」のプログラムです。当日配布した資料を添付しましたのでご参照ください。

(2) スクールプログラム

児童・生徒向けプログラム 3プログラムを実施 参加人数：113人 1プログラムを実施予定

教員向けプログラム 2プログラムを実施 参加人数：34人

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	小田原市立千代小学校団体来館	当館学芸員	6月4日(火)	児童と引率者	96人
2	子ども教育相談センター教育支援室くすのき プラバンプレスレット制作	当館学芸員	6月7日(金)	通室生と引率者	7人
3	鎌倉市立玉縄小学校 美術館鑑賞体験	当館学芸員	6月19日(水)	5年生と引率者	93人
4	横浜市立本宿小学校団体来館	当館学芸員	7月17日(水)	5年生と引率者	108人
5	大磯まきば幼稚園団体来館	当館学芸員	7月18日(木)	児童と引率者	20人
6	藤沢市立高倉中学校団体来館	当館学芸員	7月24日(水)	1～3年生と引率者	22人
7	教員向け対話による美術鑑賞体験会	当館学芸員	7月25日(木)	小・中・高・特別支援学校の教職員	9人
8	明石町保育園団体来館	当館学芸員	7月26日(金)	児童と引率者	19人
9	柳町保育園団体来館	当館学芸員	7月26日(金)	児童と引率者	22人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
10	横浜市立樽町中学校団体来館	当館学芸員	7月26日(金)	1～3年生と引率者	14人
11	横内保育園団体来館	当館学芸員	7月30日(火)	児童と引率者	14人
12	平塚市立横内中学校団体来館	当館学芸員	7月31日(水)	1～3年生と引率者	14人
13	中高校生のワークショップボランティア	当館学芸員	8月1日(木) 8月3日(土) 8月4日(日)	中高生	10人
14	大磯中学校美術部団体来館	当館学芸員	8月6日(火)	1～3年生と引率者	12人
15	教員向け染色実技講座	山田麻緒氏(美術作家)	8月9日(金)	小・中・高・特別支援学校の教職員	25人
16	日本女子大学 博物館実習のための美術館鑑賞体験	当館学芸員	8月20日(火)	大学生と引率者	—
17	平塚支援学校団体来館	当館学芸員	11月1日(金)	児童と引率者	—
18	平塚市立大野小学校団体来館	当館学芸員	11月15日(金)	2年生と引率者	—
19	神奈川県立えびな支援学校団体来館	当館学芸員	12月10日(火)	3年生と引率者	—
20	茅ヶ崎市立浜之郷小学校団体来館	当館学芸員	12月19日(木)	5年生と引率者	—

(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

対話による美術鑑賞授業 令和6年4月に希望校を募集し依頼を受け次第実施する

1校(2学年4クラス)で実施 参加人数:125人 6校(9学年22クラス)で実施予定

担当:江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	学校名	準備日	学校実施日 (事前授業日)	来館授業日	学年	クラス数	参加人数
1	勝原小学校	5月30日(木)	6月21日(金)	—	5年生	2クラス	61人
2	勝原小学校	5月30日(木)	6月26日(水)	—	4年生	2クラス	64人
3	松原小学校	9月19日(木)	9月26日(木)	10月3日(木)	4年生	2クラス	—
4	金目小学校	11月7日(木)	11月12日(木)	—	4年生	3クラス	—
5	八幡小学校	11月13日(木)	11月20日(水)	—	5年生	2クラス	—
6	八幡小学校	11月13日(木)	11月21日(木)	—	6年生	2クラス	—
7	富士見小学校	11月22日(金)	11月27日(水) 11月28日(木)	12月4日(水) 12月5日(木)	6年生	4クラス	—
8	松延小学校	1月8日(水)	1月15日(水)	2月6日または7日	6年生	2クラス	—
9	相模小学校	1月16日	1月23日(木)	—	6年生	2クラス	—
10	相模小学校	1月16日	1月24日(金)	—	5年生	2クラス	—
11	富士見小学校	1月22日(水)	1月30日(木)	2月5日、6日、7日のうち1日	4年生	3クラス	—

事前授業のみの授業も実施します。授業の実施はひらびあ一つま〜れのメンバーが担当します。

● ボランティア育成のための研修等を実施します。

対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つま〜れ)9期生の育成、及び新規加入の10期生20名程度の育成を実施予定です。また、10期生募集のための体験会、ボランティア同士の交流やミーティングを目的としたひらびcaféを実施します。

18プログラムを実施 参加人数：217人 14プログラムを実施予定。

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	4月10日(水)	15人
2	ひらびCafé	当館学芸員	4月18日(木)	12人
3	自主研修	当館学芸員	4月23日(火)	8人
4	教員向け鑑賞体験・おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	4月26日(金)	11人
5	9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	5月10日(金)	18人
6	自主研修	当館学芸員	5月17日(金)	13人
7	自主研修	当館学芸員	5月21日(火)	16人
8	自主研修	当館学芸員	5月29日(水)	7人
9	9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	6月1日(土)	14人
10	おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	6月5日(水)	11人
11	自主研修	当館学芸員	6月8日(土)	13人
12	ひらびCafé	当館学芸員	6月18日(火)	7人
13	おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	6月28日(水)	11人
14	美術館であそぼミーティング	当館学芸員	7月6日(水)	11人
15	美術館であそぼ・教員向け鑑賞体験ミーティング	当館学芸員	7月11日(木)	9人
16	自主研修	当館学芸員	7月12日(金)	12人
17	美術館であそぼ・教員向け鑑賞体験ミーティング	当館学芸員	7月18日(木)	13人
18	1-9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	7月19日(土)	16人
19	おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	8月15日(木)	—
20	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	8月21日(水)	—
21	1-9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	9月27日(金)	—
22	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	10月12日(土)	—
23	1-9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	10月26日(金)	—
24	10期募集体験会1回目	当館学芸員	11月中旬	—
25	10期募集体験会2回目	当館学芸員	12月上旬	—
26	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	12月7日(土)	—
27	1-9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	12月14日(土)	—
28	10期基礎研修1回目	三ツ木紀英(ARDA)	2月8日(土)	—
29	10期基礎研修2回目	三ツ木紀英(ARDA)	2月15日(土)	—
30	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	3月1日(土)	—
31	1-9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	2月21日(金)	—
32	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	3月15日(土)	—

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行います。

IV その他の事業

(1) 団体向け研修・体験プログラム

6プログラムを実施 参加者数：138人 来館時に開催中の展覧会を観覧、レクチャーを実施しました。

NO	団体名	実施日	参加者数
1	國學院大學	6月1日(土)	32人
2	茅ヶ崎・寒川小学校研究会	7月23日(火)	32人
3	サン・キッズ湘南学童保育室	7月24日(水)	26人
4	ファミリーキッズ平塚	7月26日(金)	20人
5	GATE (放課後デイ)	7月25日(木)	14人
6	ファミリーキッズ伊勢原	7月31日(水)	14人

(2) 博物館実習生及び職場体験

●博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生9人を受け入れ、6月から12月まで実習を実施します。

●中堅教諭等資質向上研修 社会体験研修の受け入れ。

今年度は希望者がありませんでした。

●中学生職場体験及び高校生等の受け入れ。

(3) 所蔵作品データベースの公開

WEB上に公開している所蔵作品のデータベースについて、今後も画像データを充実させてまいります。

日本語サイト：<https://jmapps.ne.jp/hiratukabi/>

英語サイト：https://jmapps.ne.jp/hiratukabi_en/

(4) 紀要の発行

2024年8月1日に『平塚市美術館紀要』第1号をホームページ上に掲載しました。

V 施設利用者等の統計

※以下、単位を省略します。

(1) 展覧会

●開館日数、観覧者数

月	R6 年度				R5 年度				R4 年度			
	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計
4 月	25	1,408	1,502	2,910	26	1,641	1,521	3,162	26	3,551	1,801	3,551
5 月	27	2,286	2,555	4,841	26	3,069	2,667	5,736	26	5,864	5,630	11,494
6 月	26	1,217	1,382	2,599	26	2,214	736	2,950	26	3,529	1,894	3,529
7 月	26	5,320	3,306	8,626	26	4,752	4,136	8,888	26	2,262	2,830	5,092
8 月	27	-	-	-	27	7,986	6,286	14,272	27	3,435	3,776	7,211
9 月	25	-	-	-	26	3,236	1,409	4,645	26	1,551	1,805	3,356
10 月	27	-	-	-	26	1,470	1,868	3,338	26	1,367	192	1,559
11 月	26	-	-	-	26	2,663	2,813	5,476	26	2,683	2,737	5,420
12 月	24	-	-	-	24	-	1,506	1,506	24	-	1,573	1,573
1 月	24	-	-	-	24	-	2,838	2,838	24	-	2,614	2,614
2 月	24	-	-	-	25	-	4,171	4,171	25	-	3,976	3,976
3 月	26	-	-	-	27	-	5,358	5,358	27	-	4,683	4,683
4 月	6	-	-	-	7	-	588	588	7	-	570	570
計	313				316	27,031	35,897	62,928	316	20,547	28,828	49,375

●学校観覧

		R6 年度						R5 年度						R4 年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学 校 数	生 徒 数	教 員 数	学 校 数	生 徒 数	教 員 数	学 校 数	生 徒 数	教 員 数	学 校 数	生 徒 数	教 員 数	学 校 数	生 徒 数	教 員 数	学 校 数	生 徒 数	教 員 数
小 学 校	市 内	1	56	6	1	56	6	2	116	11	6	373	26	4	204	20	6	234	33
	市 外	3	261	19	3	261	16	1	27	3	4	241	15	2	108	5	3	337	15
中 学 校	市 内	2	15	6	1	11	3	2	15	4	2	15	4	6	49	20	6	49	20
	市 外	2	32	4	2	32	4	16	266	32	15	251	29	8	117	11	9	138	23
高 等 学 校		0	0	0	0	0	0	2	20	10	2	20	10	0	0	0	3	37	16
計		8	364	35	7	360	29	23	444	60	29	900	84	20	478	56	27	795	107

(2)貸出施設

●市民アートギャラリー

	R6 年度			R5 年度			R4 年度		
月	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4 月	25	5	2,231	12	2	602	12	2	744
5 月	27	5	2,166	24	4	1,983	24	4	2,015
6 月	24	3	1,686	5	1	223	18	3	1,380
7 月	16	4	2,440	21	4	2,146	24	4	2,514
8 月	-	-	-	30	6	3,660	23	6	2,198
9 月	-	-	-	23	6	3,351	17	5	1,826
10 月	-	-	-	26	5	2,961	19	3	1,971
11 月	-	-	-	21	6	4,970	28	7	4,811
12 月	-	-	-	12	3	1,463	12	3	1,086
1 月	-	-	-	26	5	5,975	25	6	6,345
2 月	-	-	-	16	5	1,426	12	3	1,642
3 月	-	-	-	27	3	2,957	30	4	2,763
計	92	17	8,523	243	50	31,717	244	50	29,295

●ミュージアムホール

	R6 年度			R5 年度			R4 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4 月	1	1	80	3	3	220	2	2	95
5 月	0	0	0	0	0	0	1	1	35
6 月	3	3	300	3	3	232	4	5	235
7 月	2	2	144	2	2	117	3	3	108
8 月	-	-	-	3	3	230	2	2	154
9 月	-	-	-	5	2	286	6	6	176
10 月	-	-	-	5	4	296	2	2	98
11 月	-	-	-	2	2	130	2	2	80
12 月	-	-	-	7	5	340	5	5	270
1 月	-	-	-	12	12	689	5	5	149
2 月	-	-	-	5	5	323	4	4	116
3 月	-	-	-	11	10	750	7	7	378
計	6	6	524	58	51	3,613	43	44	1,892

●アトリエ

	R6 年度			R5 年度			R4 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4 月	3	3	65	8	8	80	4	4	41
5 月	1	1	117	6	6	131	1	1	4
6 月	3	3	39	4	4	41	5	7	76
7 月	2	3	27	2	2	24	3	3	35
8 月	－	－	－	3	3	48	3	3	51
9 月	－	－	－	3	3	28	2	3	26
10 月	－	－	－	3	4	264	6	6	102
11 月	－	－	－	3	3	35	3	3	33
12 月	－	－	－	1	1	11	2	2	27
1 月	－	－	－	3	3	422	8	2	298
2 月	－	－	－	3	3	40	4	4	50
3 月	－	－	－	2	2	18	0	0	0
計	9	10	248	41	42	1, 142	41	38	743